

## 中国電力グループ統合報告書 2023 および SASB スタンドにに基づく情報開示の一部訂正について

2023年10月31日に公表しました「中国電力グループ統合報告書 2023」および「SASB スタンドにに基づく情報開示」につきまして、一部記載に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

なお、当社ウェブサイトには、訂正済みの資料を掲載しております。

## 【訂正箇所】

## 1. 中国電力グループ統合報告書 2023

## P27 ESGファイナンスの推進

参考 中国電力グループの再生可能エネルギー設備容量（2023年3月末時点）

訂正前			訂正後		
中国電力グループの再生可能エネルギー設備容量 (2023年3月末時点)			中国電力グループの再生可能エネルギー設備容量 (2023年3月末時点)		
	再生設備容量	CO <sub>2</sub> 排出削減量(2022年度)*		再生設備容量	CO <sub>2</sub> 排出削減量(2022年度)*
太陽光	約6万kW	5t-CO <sub>2</sub> /年	太陽光	約6万kW	5万t-CO <sub>2</sub> /年
風力	約0.4万kW	0.5t-CO <sub>2</sub> /年	風力	約0.4万kW	0.5万t-CO <sub>2</sub> /年
水力	約82万kW	235t-CO <sub>2</sub> /年	水力	約82万kW	235万t-CO <sub>2</sub> /年
バイオマス	約29万kW	111t-CO <sub>2</sub> /年	バイオマス	約29万kW	111万t-CO <sub>2</sub> /年
※2022年度のCO <sub>2</sub> 排出係数(調整後)0.545t-CO <sub>2</sub> /kWhを使用し算定			※2022年度のCO <sub>2</sub> 排出係数(調整後)0.545kg-CO <sub>2</sub> /kWhを使用し算定		

## P32 指標と目標

【サプライチェーン温室効果ガス排出量】

訂正前			訂正後		
【サプライチェーン温室効果ガス排出量】			【サプライチェーン温室効果ガス排出量】		
項目	2021年度実績	2022年度実績	項目	2021年度実績	2022年度実績
スコープ1 (事業者自らによる温室効果ガスの直接排出)	1,850万t-CO <sub>2</sub>	1,961万t-CO <sub>2</sub>	スコープ1 (事業者自らによる温室効果ガスの直接排出)	1,850万t-CO <sub>2</sub>	1,961万t-CO <sub>2</sub>
スコープ2 (他社から供給された電気の使用に伴う間接排出)	0.003万t-CO <sub>2</sub>	0.004万t-CO <sub>2</sub>	スコープ2 (他社から供給された電気の使用に伴う間接排出)	0.003万t-CO <sub>2</sub>	0.004万t-CO <sub>2</sub>
スコープ3 (スコープ2以外の間接排出)	1,088万t-CO <sub>2</sub>	1,301万t-CO <sub>2</sub>	スコープ3 (スコープ2以外の間接排出)	1,088万t-CO <sub>2</sub>	1,300万t-CO <sub>2</sub>

## P63 II. 循環型社会形成の推進 廃棄物の3Rの推進

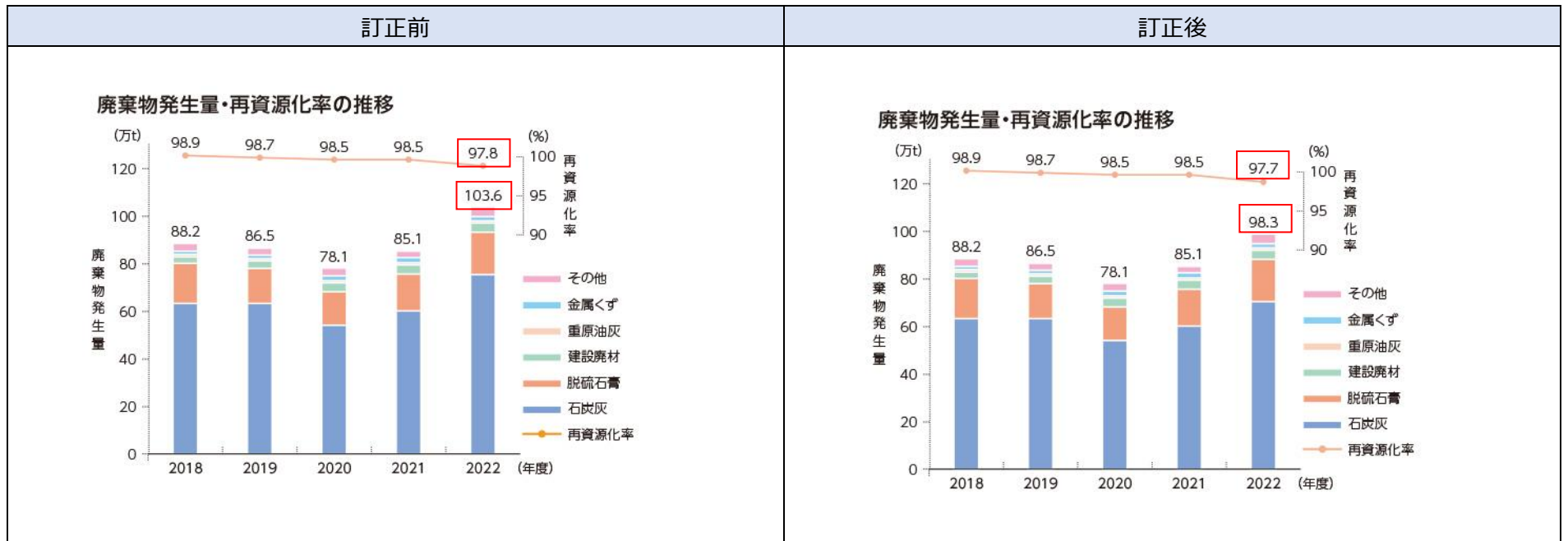
①廃棄物の3Rの推進

訂正前	訂正後
当社グループは、循環型社会の構築に向け、廃棄物の再資源化に積極的に取り組んでおり、2022年度は、発生した廃棄物の97.8%を再資源化しました。特に、火力発電所から排出される石炭灰の再資源化率は、石炭灰製品の開発・活用等により、98.9%の高い水準を維持しています。	当社グループは、循環型社会の構築に向け、廃棄物の再資源化に積極的に取り組んでおり、2022年度は、発生した廃棄物の97.7%を再資源化しました。特に、火力発電所から排出される石炭灰の再資源化率は、石炭灰製品の開発・活用等により、98.9%の高い水準を維持しています。

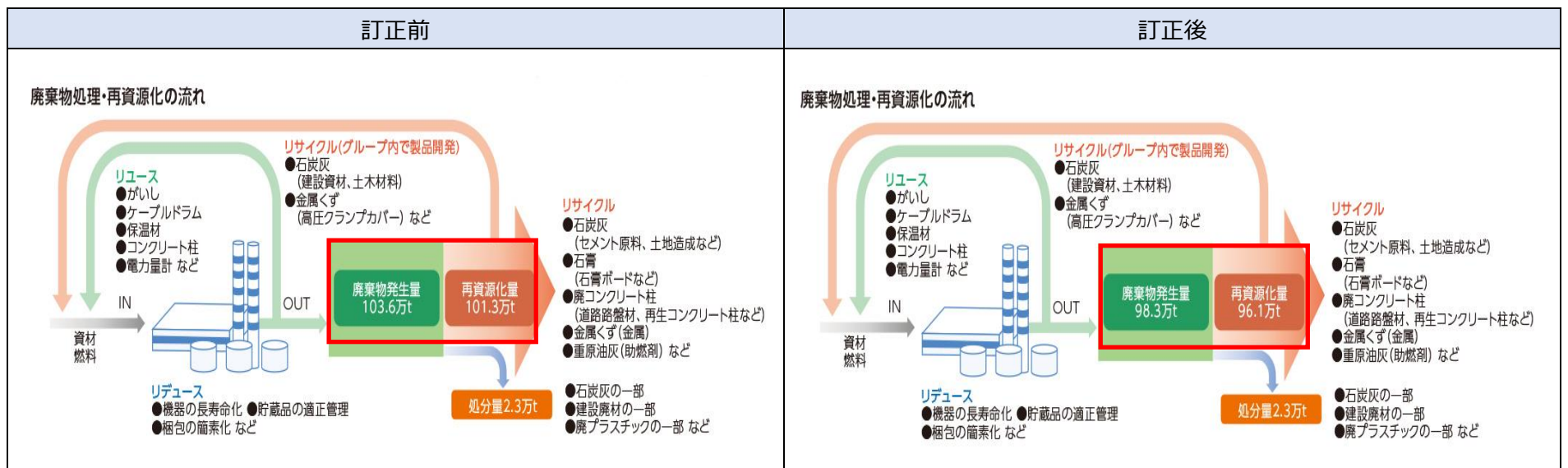
②廃棄物発生量・再資源化量（2022年度）

訂正前					訂正後						
廃棄物発生量・再資源化量(2022年度)					廃棄物発生量・再資源化量(2022年度)						
項目	発生量(万t)	再資源化量(万t)	処分量(万t)	再資源化率(%)	項目	発生量(万t)	再資源化量(万t)	処分量(万t)	再資源化率(%)		
産業廃棄物	石炭灰	75.6	74.8	0.8	98.9	産業廃棄物	石炭灰	70.4	69.6	0.8	98.9
	脱硫石膏	17.8	17.7	0.1	99.5		脱硫石膏	17.8	17.7	0.1	99.5
	建設廃材等	10.1	8.7	1.4	86.3		建設廃材等	10.1	8.7	1.4	86.3
一般廃棄物	0.2	0.1	0.0	80.3	一般廃棄物	0.2	0.1	0.0	80.3		
合計	103.6	101.3	2.3	97.8	合計	98.3	96.1	2.3	97.7		
(注1)廃棄物には、有価物も含む。 (注2)端数処理のため、合計が合わない場合がある。					(注1)廃棄物には、有価物も含む。 (注2)端数処理のため、合計が合わない場合がある。						

③ 廃棄物発生量・再資源化率の推移



④ 廃棄物処理・再資源化の流れ



P98 非財務 (ESG) データ

Environment (環境)

	訂正前			訂正後		
循環型社会形成の推進 (注) 中部電力グループ内の数値						
廃棄物発生量	78.1万t	85.1万t	103.6万t	78.1万t	85.1万t	98.3万t
うち石炭灰発生量	54.1万t	60.2万t	75.6万t	54.1万t	60.2万t	70.4万t
廃棄物再資源化率	98.5%	98.5%	97.8%	98.5%	98.5%	97.7%
石炭灰再資源化率	99.8%	99.4%	98.9%	99.8%	99.4%	98.9%

2. SASB スタンダードに基づく情報開示

	訂正前						訂正後						
開示トピック	会計メトリクス	カテゴリ	単位	コード	2022年度の取り組み実績 (開示内容)		開示トピック	会計メトリクス	カテゴリ	単位	コード	2022年度の取り組み実績 (開示内容)	
<b>環境</b>													
石炭灰管理	石炭灰の発生量およびリサイクル率	定量的	t %	IF-EU-150a.1	756,000 [t]、98.9 [%]		石炭灰管理	石炭灰の発生量およびリサイクル率	定量的	t %	IF-EU-150a.1	704,000 [t]、98.9 [%]	
	石炭灰の処分場件数 (アメリカ環境保護庁によるハザードポテンシャル分類と構造安定性評価による分類に基づく)	定量的	件数	IF-EU-150a.2	火力発電所で発生する石炭灰は98.9%再利用しています (2022年度実績)。			石炭灰管理	石炭灰の処分場件数 (アメリカ環境保護庁によるハザードポテンシャル分類と構造安定性評価による分類に基づく)	定量的	件数	IF-EU-150a.2	火力発電所で発生する石炭灰は98.9%再利用しています (2022年度実績)。